

## 令和5年度 指定管理業務の評価表

## 1 施設概要

施設名	三重電子スマイルアリーナ小俣 (伊勢市小俣総合体育館) 伊勢市大仏山公園スポーツセンター	所在地	伊勢市小俣町新村401-1 伊勢市小俣町新村605
指定管理者名	株式会社スコルチャ三重	指定期間	令和5年4月1日から令和9年3月31日まで
設置目的	スポーツを通じて、市民の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため。		
業務内容	施設の利用に関する業務 施設の維持管理に関する業務 施設の管理運営に関する業務 自主事業の実績 管理業務等の報告		
施設概要	三重電子スマイルアリーナ小俣(伊勢市小俣総合体育館):アリーナ(観客席408席)・柔剣道場・トレーニングルーム 伊勢市大仏山公園スポーツセンター:多目的グラウンド・キャンプ場・マウンテンバイクコース		
職員体制	10名		
施設所管課名	スポーツ課		

## 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	34,900,963	35,663,298	37,528,000	1,864,702
		利用料金	7,101,280	6,146,915	5,999,160	△ 147,755
		その他	1,282,220	1,257,483	1,118,902	△ 138,581
		計(a)	43,284,463	43,067,696	44,646,062	1,578,366
	支出	人件費	19,039,857	19,967,911	19,249,228	△ 718,683
		管理運営費	20,205,095	20,703,445	21,971,233	1,267,788
		その他	1,991,451	2,010,676	2,412,674	401,998
		計(b)	41,236,403	42,682,032	43,633,135	951,103
	収支差引額(a)-(b)		2,048,060	385,664	1,012,927	627,263

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	<p>【収入】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料:第2期(令和5年度から令和9年度)指定管理料増額による収入増</li> </ul> <p>【支出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理運営費:光熱費高騰、施設修繕費増の為</li> </ul>
----------------------------------	---

## 3 評価(様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<p>貸館業務、運営業務、施設維持管理業務及び利用者対応について問題なく実施できました。年間利用件数、年間利用者数とも計画を達成。利用者とのきめ細やかな対応が計画達成に繋がったと考えます。</p> <p>また利用者が安心安全な施設として利用して頂くために日頃の巡回・清掃を通じ不具合箇所を早期発見し、速やかな修繕を行う等、施設の維持管理に努めました。</p> <p>今後は、施設の老朽化による雨漏りや設備不備を改善するため、修繕及び改修、新しい設備の導入などを担当課と協議し進めていきたい。</p>	<p>指定管理2期目の1年目であり、利用調整、利用者対応、点検及び維持補修等、施設の運営管理について、利用者とのトラブルもなく円滑かつ適正に行われていた。</p> <p>また、きめ細やかなサービスにより、利用件数や利用者数につながった。</p> <p>今後も、サービス向上のため、利用者のニーズを把握し、施設整備箇所や必要備品を当課と協議しながら、適切に管理を行っていただきたい。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名 三重電子スマイルアリーナ小俣(小俣総合体育館)  
大仏山公園スポーツセンター

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の設置目的や基本方針をしっかり理解し管理運営を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも十分な理解が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通して、施設の目的である「スポーツを通じて市民の心身の健康な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため」という設置目的に資することができた。	A	利用者との円滑な調整、予約調整、安全な施設運営を行っており、設置目的は達成された。
	③利用者数	A	年間利用者目標は、120,00人に対し、実績134,763人であり、目標を上回ることができました。	A	適切に施設の管理を行っており、十分に目標達成されている。
	④運営状況	A	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	事業計画書通り、適正に施設運営を行った。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務担当者を設置し適正な配置勤務が取れた。
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	事業計画書に館長・各業務担当者等、勤務体系の記載があり、それに従い、滞りなく業務が行われていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種管理記録等は、適正に整備保管を行っている。
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図られていたか。	A	自主事業は、子ども育成事業や健康増進事業の考えをもとに企画し、地域や地元住民との交流を図ることができた。
	⑨使用許可等	A	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可申請の取り扱いは、不平等にならないように公平に行いました。
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	利用料金の徴収、減免、キャンセル分返金等は帳簿等を作成し適正に行なった。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	利用者の目に触れないよう配慮し、ファイリングを行い棚に収納し、情報漏洩が無いよう管理した。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	伊勢市各条例など関係法令を理解し、遵守した。

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名 三重電子スマイルアリーナ小俣(小俣総合体育館)  
大仏山公園スポーツセンター

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	弊社運営管理の市内他施設との情報交換により利用者増加に取り組んでいます。	A	LED照明取替など、具体的な取り組みの効果もあり、利用者の増加につながった。
	②利用者の平等な利用	A	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、変更があった場合は、口頭での引継ぎやメールや通達文書を作成し全員に漏れが無いように取り組んだ。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	体育館では窓口での案内、玄関口や館内に貼り告知案内、また大仏山公園SCでは管理棟に告知案内を貼るなど利用者に適切な利用情報を伝えた。	A	工事日程やイベント情報などの情報提供を適切に行われていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時マニュアルの整備及び防災訓練が適切に行われていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	適切に対応しており、大きなトラブルはなかった。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	スポーツ振興や地域の健康増進に寄与するイベントを行った。大仏山公園を活用したウォーキングを企画。また体育館を活用したヨガを企画するなど利用促進をはかった。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	事業実施時に聞き取り等で利用者の声を聴きニーズを把握し次年度の計画に繋げている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	建設、設備、植栽など適切に管理し、良好な機能及び美観を維持管理している。	A	法定点検及び委託のほか、日常並びに定期的な点検、確認が行われ、不具合箇所については当市と協議しながら適切に処理されていた。
	②備品等の管理	A	備品は日頃より管理を行い、異常あった場合は速やかに担当課に報告し対応を行った。	A	破損や紛失がなく、不具合箇所については当市と協議しながら適切に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	施設・設備の定期点検を実施し、異常があった場合は速やかに担当課に報告し、対応を行った。また老朽化が進んでいるため担当課と協議し、適宜、修繕を行っている。
	④清掃業務	A	外部委託の特別清掃(年4回)とスタッフによる日常清掃を適切に行った。	A	適切に実施されており、利用者からの指摘等はなかった。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は定められた箇所に保管し、戸締りも施錠確認表にて確認し防犯を行った。また利用者や業者に対しては鍵貸出し簿を作成し、しっかり管理を行っている。